百物語

九

へ遠13
1835
7

近世百物語巻之九目録

遊女為二稼生
天狗平児侍
葬頭婆利益
生前分遺物
農児語二前生
孝子刻二詩冊
肥後産大児

へ遠13
1855
9

歌謡述死期

宮内省図書寮

延世百物語巻之九

遊女為藤生霊

文政三年四月[illegible]

[illegible]遊女[illegible]年三十五歳[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四方書陸奥ナニガイジヤウ[illegible]
[illegible]
高長ら所の書陸奥出羽山の天狗杉山信濃すう高長
所行ふ所[illegible]
[illegible]
天狗杉を[illegible]
[illegible]
[illegible]二年[illegible]月[illegible]

所長ふ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]山ハ師の行[illegible]
[illegible]十三天狗[illegible]
[illegible]
[illegible]天狗[illegible]
師の行山修ハ[illegible]
[illegible]
中ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]

宮[illegible]師の行ふ[illegible]中ハ毎日[illegible]水より[illegible]熱湯
[illegible]
又ハ朝(ツルギ)[illegible]
一所[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

毒蛇ハこゞらの立ち蔵の蔵と語あて新ゞ毒を
吸て天狗の[illegible]時は大蔵の姿ゞ居
ゞ又天狗死ぬゞ神と云ふ人を某とかりもの
命と云ふ

巳光山ハ天狗おゝ[illegible]ふも天狗の天狗と云ふ
ゞハ信ぬ云ふ人の高天原天狗ゞ
天狗と云ふゞ行人と云ふ天狗ゞ
さて人と云ふ意ゞ

天狗ゞさら行人（高ゞ坊）と云ふ天狗ゞ
と云ふゞハ云ふ人と云ふゞ
さらゞ者天狗ゞ云ふゞ虚空ゞ
ゞ又明ゞ云ふ人を見ゞ行者の姿ゞ
のゞて新ゞ云ふて西ゞ云ふ巳ゞハ和尚ゞ
ゞゞ云ふゞ

巳光の眷屬ゞ云ふ
と二ゞの相ゞ云ふ又巳光の二ゞ

此花は少笑あるが如き花なりて法師をそなへて
少笑あるらしきと云
物の山あるセンヤウの森とうをたとう者ごとの
うとをまきしい物ヤ人あてをあるうとあく又長サ
一寸巾の筋を吹くに元中ふくに左よりに高あり
吹くと人あるまて左の元を押へそのあとふみさらで
の元あるそく左をまあるて押つるあり
天物を強るまたあり　薫陸　白檀　榕葉

右薫陸を焼時は天物をあるとむあり
榕葉は日ふるとぐる器物の中
羽うちは物のうと厂ちく先の物でしあつきとあり
常ふ木の葉をあてむとで
丁字をパンタツと云物をあるとく歯に木
詩ふて出てるとをを仏をの形ハ人のごと
香姫をジヨウと云かね色作りしあり
常ふくと木物あるとく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]あり[illegible]
[illegible]の[illegible]像あり[illegible]
[illegible]て[illegible]
をある紙にて[illegible]
[illegible]像のひざ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

生前分遺物

[illegible]の里[illegible]国州の[illegible]紀州[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

我は生れつきこの二冊の中の人なり
かくこそこそ加へあり武州多摩郡中野村にて
中野平右衛門信の命ぐ初孫なる農民源兵衛二
男信の命安永七年の生れにて文政二年九歳の
母はやい姉はふさ者もあり又福ありつやと云弟年
十四姉ふさ信の命妻人田圃に居る信の
命云ふ姉こんはどこの家へ生れたりしぞ
と問へ姉ふさ長谷生れぬ我の事ばかりして知らぬ

とふ信の命の言ふ彼して姉こんは生れぬ我の
家を知らぬかと問へ姉ふさ言て知らぬ事なり
生れぬ我の家を知て居るものあらんやそちは知て居る
と問へやふ信の命言て知て居るならば家の家へ
生れて来ぬ我は程久保の久兵衛さんのあぐこふ姉ふさ
こんあらばそうさまあるまじくば信の命浮世話
てはこうこうこんの命と云て出ぬ後ふさ信の命
物のあらそひなるぞそうの事をこうあぐこうば信の

急ちあらそひをあてあるるあるあり父源義
男あり猶の弟子あるるるるるるるのあるしあるんと
或はあるを問つあるばあるを包むるあ彼猶の弟が
事をあるるあり張りるる源義平と素さの福つや吾〳〵
ふ島猶おひひ之後猶の弟をいあ〳〵だまるるて同義
猶の弟つあ前まを語てるおらは猶村のるを源さん
のるあて義義とあるるるあるるんのあはるるあらば吾
の猶おるるるんはあ〳〵だ生源まは弟るんとあるんが義て

おらをかあるだるるるるの歳疱瘡で死んぐまう
三年目よりあのおるるるんの猶〳〵るつて生れて来るるふ
福あ祈るも吾るるあるるるる出猶の弟は疱瘡を
祈つあおるて病るが病あるう猶弟の年死るるり
猶の弟るるるは猶おるは祈弟るるるるるる
疱瘡で死んぐ的重〳〵るら仕て山よ埋るる的方の弟と重を
落〳〵るるどんと葬ぐして重ぐるるる来ら又内るあつて
机の上よ落るう吾らあるおぐのるんが年て遊仕て行るるるふ

あるものは急病のためかやうなるべき餅のあるべきの自ら咽へ
通らぬ滅ふるまいをふおがそなるそのおばいさんがもちや
三年をすぎうせ家に生れうとりてこの家の系に当てそのの
おばいさんはどこへ移りあるまつ〳〵まうせ家にそらしと
思ひて門口で来るがおろさんが沼へまちふせるこのあるべく
うつ思へらばよ産ふこうを手にたくそのあみ沼へ出る事が
あるあつこうあの毒のこのの節元らうまつりて竜の孫
又こうだうこそたうおりてさんの孫へこのつこうよ

福梅八流の品風雅ともに浮世とおぼの上の海の三年
三月なる福梅つや孫梅を節をつりて梅ろ屋村の名
お梅の節をそなこまぢ梅ぞこのおびこの梅をそのの
梅の節をそこへこをそもてやおづこの家へ別あるべの名を
問ふまに節と云業の名を問へばおづこを先の名を
こべ久をあこを云梅つや京をつ問こをふ屋の家こらふ
子あるこをこをふまあをづこをて屋の八十四年の流よ亡
歳を施療で死をこを云梅つや京あを於て安事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

孝子刻詩暦

文政五年壬午十月元肥前国柳原師孫之郎歳九
孝心あるこゝろ宜しきを聞き和歌を編りうるる
翌年四月五日柳田玄徐らつる医師 七十の華甲
の賀を祝の為に詩歌を自ら書き孝子
ふるまひ [illegible]

文政第六癸未年三百五十四日全
大小大小小閏 大小大大連

肥後産大児

肥後国宇土郡浦田郡村の農民今助年歳
事いつゝ年歳を天保九年正月五男を産む
元児誕生ありて子孫ともに
元歳の時父熊吉医師なる児の父に俗名
毋延しゝる事 [illegible] 勢力を尋して

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

歌謡体沈期

[illegible]九年四月[illegible]通二[illegible]歳

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]